

携帯用手動運転装置

Portable Hand Drive Stick

Dステッキ DS-03

取扱説明書

(Ver.1)



- ご利用前に必ず本書をお読みください。



～障害者のためのものづくり工房～

2020年11月

目次



1. はじめに

① 本製品について	3
② 各部の名称	5
③ 内容物	7
④ 仕様	8
⑤ 安全上のご注意	9

2. 取り付け

① 組み立て	10
② ブレーキペダルへの取り付け	11
③ アクセルペダルへの取り付け	12
④ アクセルパイプの調節	13
⑤ 吊り下げバンドの取り付け	14
⑥ グリップパイプの調節	15

3. 取り外し・収納

① 取り外し	16
② 収納	16

4. 運転

① ブレーキ操作	17
② アクセル操作	17
③ 簡易ブレーキロック	18
④ 運転前の点検	19
⑤ こんなときは	20

5. 保証とアフターサービス

① 保証とアフターサービス	21
---------------	----

6. お問い合わせ先

① お問い合わせ先	22
-----------	----

1. はじめに



① 本製品について

本製品は、代車・レンタカー・試乗車などを短期間使用する場合の、取り付け・取り外しが簡単にできる携帯用手動運転装置です。

以下のようないくつかの特徴があります。

- 介護用の杖や建築金物など市販品を利用することで材料費を抑えています。
- 工具なしで取り付け・取り外しが可能です。
- もし取り付けねじが緩んでも、クランプが外れないようセイフティフックが付いています。
- ブレーキペダルより左側にバーがないため左足に干渉しません。
- 車種に応じて調節が可能です。
- 簡易ブレーキロックが取り付け可能です。
- 内容物のうち、必要がなければ予備部品セット、簡易ブレーキロック、工具セットはなしにすることができます。その分代金が安くなります。

※本取扱説明書の写真に一部旧製品の写真を使用しています。

① 本製品について

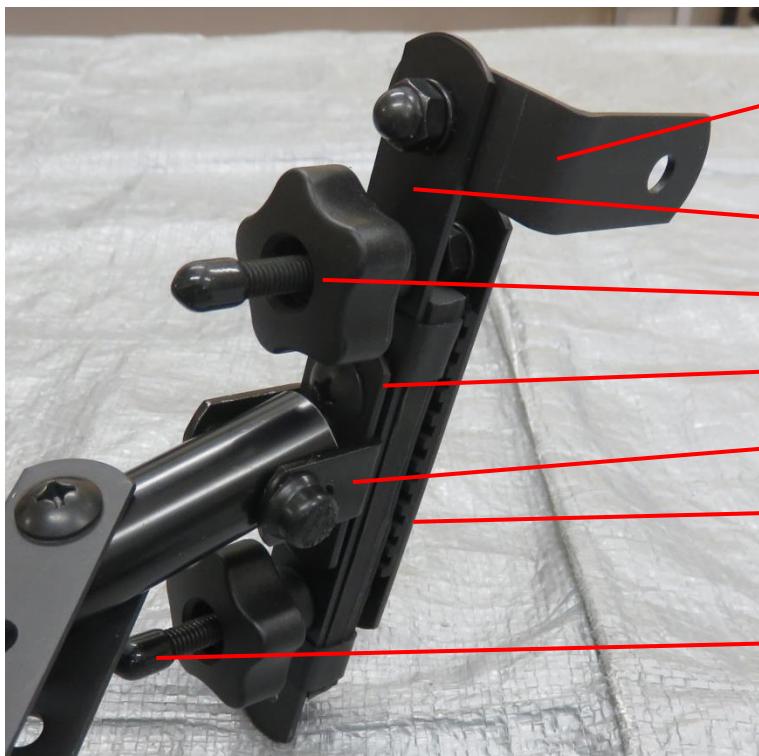
- グリップ形状や色を市販の杖（太身タイプ、杖先19mm）から選択する
ことが可能です。木製やスポーツタイプがあるので気軽にご相談ください。
(差額が発生します、後からの交換も可能です)



② 各部の名称

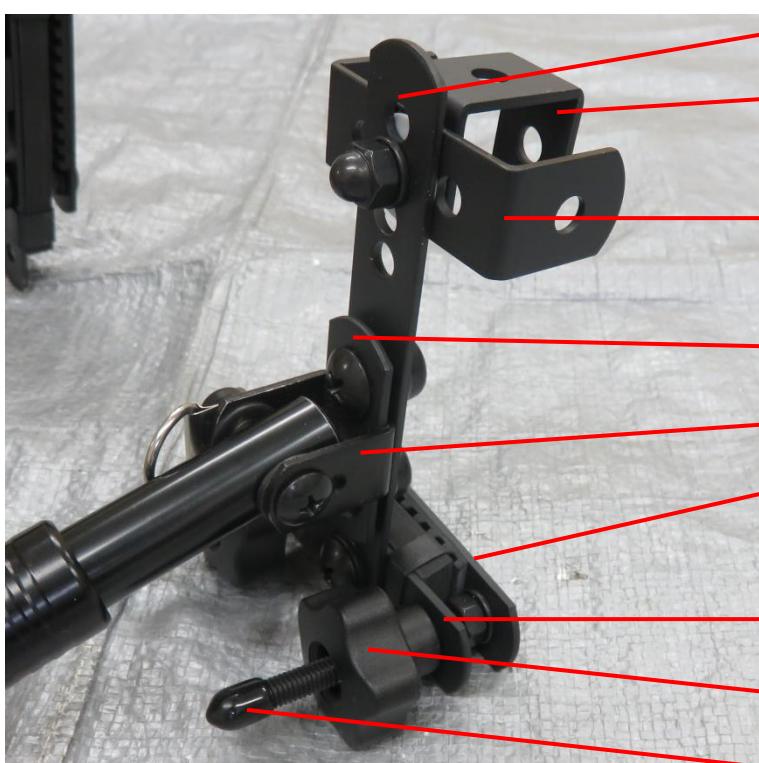


② 各部の名称



- ③ブレーキペダルセーフティフック
ショート
- ①ブレーキクランプバー
- ④スターノブ
- ⑥コの字金具固定バー
- ⑤結合用コの字金具
- ②ブレーキクランプホールドバー
ショート
- ⑦ねじ先端キャップ

〈ブレーキクランプ〉



- ①アクセルキールバー
- ④アクセルペダルセーフティフック
縦用 奥行きショート
- ⑤アクセルペダルセーフティフック
横用 幅ショート・奥行きショート
- ⑧コの字金具固定バー
- ⑦結合用コの字金具
- ③アクセルクランプホールドバー
ショート
- ②アクセルクランプバー
- ⑥スターノブ
- ⑨ねじ先端キャップ

〈アクセルクランプ〉

③ 内容物

- 携帯用手動運転装置本体 DS-02

- 取替用部品

アクセルクランプ
ホールドバー

①ショート溝付き

②ワイド溝付き

③ワイド

ブレーキクランプ
ホールドバー

④ロング



ブレーキペダル
セーフティフック

⑤ディープ

アクセルペダル
セーフティフック

⑦縦用 縦ショート・奥行きショート

⑥縦用 奥行きディープ

⑧横用 幅ショート・奥行きディープ

⑨横用 幅ワイド・奥行きショート

⑩横用 幅ワイド・奥行きディープ

- 収納ポーチ

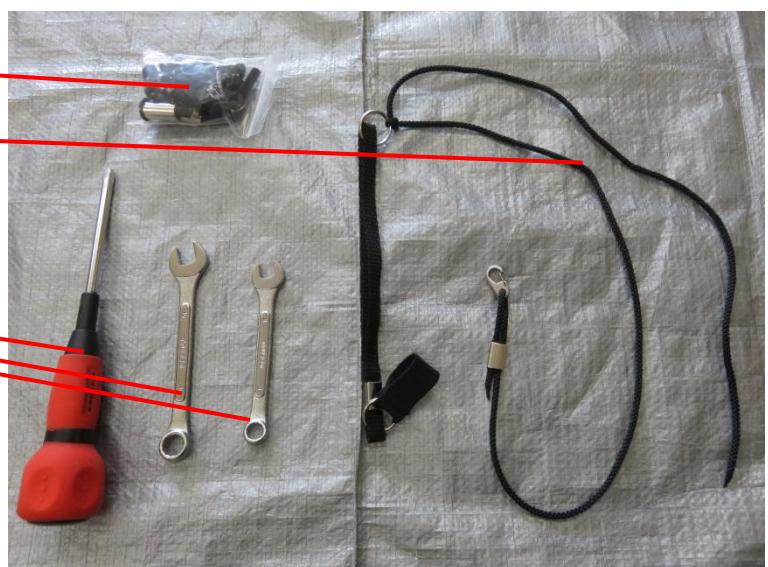


- 吊り下げバンド



- 予備部品セット
- 簡易ブレーキロック
- 工具セット
 - + ドライバー
- コンビネーションレンチ M5, M6
- 収納ケース





- 7 -

④ 仕様

- 品名・品番 Dステッキ DS-03
- 重量 約1.7kg (本体のみ)
- ステッキ フジホーム WB3754 (グリップ、ブレーキパイプ用)
ナカバヤシ RQS-E101BK (ブレーキ・アクセルパイプ用)
- オプション 予備部品セットなし
簡易ブレーキロックなし
工具セットなし
(+ドライバー、コンビネーションレンチ M5,M6)

⑤ 安全上のご注意

⚠ 警告 「取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うことが想定されること」を示します。

- 調節に必要な箇所以外は、改造・分解を行わない。
- 運転前にペダルに取り付けてあるクランプのスターノブが緩んでないか確認する。
- 手動装置を取り付けたまま、足で操作しない。
- 運転手以外は、運転操作をしない。

⚠ 注意 「取扱いを誤った場合、人が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること」を示します。

- 運転前にブレーキ操作・アクセル操作がスムースにできるか点検する。
- 手動装置の上に重い荷物を置かない。
- 手動装置のねじのゆるみや変形、ガタツキがないか、定期的に点検する。

2. 取り付け



① 組み立て

- 収納ケースから取り出して広げる。



- グリップインナーパイプにブレーキインナーパイプを差し込む。



- グリップアウターを引き延ばし、長さを調節する。パイプが固定される調節ピンがきちんと出ていることを確認する。



※参考動画

https://youtu.be/QdeJT_btaoI

② ブレーキペダルへの取り付け



- あらかじめ、ブレーキクランプホールドバーを緩めておく。
- ブレーキペダルの左側より差し込み、セーフティフックをペダルの吊り下げバーに引っかける。バーが遠くセーフティフックが引っかからないときは、取替用部品⑤ディープと取り替える。（要工具）
- スターノブをしっかりと締める。
- ぐらついてないか確認する。

③ アクセルペダルへの取り付け



- あらかじめ、アクセルクランプホールドバーを緩めておく。
- アクセルペダルの下側より差し込み（オルガン式ペダルの場合は上から）セーフティフック縦用をペダルの上端に引っかける。ペダル上端が離れていてセーフティフックが引っかからないときは、取替用部品⑥縦用 奥行きディープと取り替える。（要工具）
また、アクセルペダルの幅が広かったり、裏側に突起物がある場合、取替用部品の中から適当な物を選び取り替える。（要工具）
- スターノブをしっかりと締める。
- ぐらついてないか確認する。

④ アクセルパイプの調整



- ブレーキクランプ・アクセルクランプが取り付けられたら、一度エンジンをかけ、グリップを最大限押してみる。
- このとき、アクセルクランプがアクセルを押してしまうときは、アクセルパイプの止めネジと調節ピンを使ってアクセルパイプをアクセルを押さなくなるまで短くする。
- また、グリップを引いても中々アクセルを押さないときは、アクセルパイプを長くする。

⑤ 吊り下げバンドの取り付け

- 車のハンドルの上からバンドを引っかける。
- 手動装置のグリップパイプの下を通しバンドを輪にする。
- 手動装置を操作しやすい高さに調節する。

⑥ グリップパイプの調整



- 全て取り付け終わったら、グリップの位置を確認し、必要に応じてグリップパイプの長さを調節する。
必ずパイプが固定される調節ピンがきちんと出ていることを確認する。
- グリップの向き（下・水平など）を変えたいときは、クランプ用スパーノブを緩めて向きを変えたあと、しっかり締め直す。

3. 取り外し・収納



① 取り外し

- 吊り下げバンドを外す。
- ブレーキクランプ・アクセルクランプのスターノブを緩め、セーフティフックの引っかかりを外しながら、クランプをペダルから取り外す。

② 収納

- グリップインナーパイプからブレーキインナーパイプを引き抜き、束ねる。
- クランプを中心に回転させ、折り畳む。
- グリップパイプの調節ピンを押してグリップアウターパイプをフリーにして、グリップの向きや長さを調節して収納しやすいようにまとめ、ケースに収納する。



※参考動画 <https://youtu.be/sFt97rfxWrk>

4. 運転



① ブレーキ操作

- グリップを前に押しブレーキをかける。
- グリップを最大限押したときアクセルペダルが動く場合は、アクセルペイプを調節する。



② アクセル操作

- グリップを手前に引きアクセルをかける。
- グリップを引いたときアクセルペダルが動かない場合は、アクセルペイプを調節する。



※参考動画

<https://youtu.be/aO7Q5dQKGA0>

③ 簡易ブレーキロック

- 手動装置を取り付ける前に、簡易ブレーキロックがグリップパイプ、ビラカンにセットされていることを確認する。
- ブレーキを最大限かけた状態で、簡易ブレーキロックのストラップをグリップにかけ、ロープが突っ張るように短く結び直す。
- 手動装置を取り付けた後、もう一度ブレーキを最大限かけた状態で、簡易ブレーキロックのストラップをグリップにかけ、ロープが突っ張り手を離してもブレーキがかかっていることを確認する。
- 信号等でブレーキロックをするときは、ストラップをグリップに引っかけることで行う。ただしあくまでも簡易的な装置なので、ロックが外れたときにはすぐに対処が取れるように気をつけておく。
- 手動装置が右に傾くとブレーキロックが緩くなるので、膝の間に留まるように気をつける。



④ 運転前の点検

- 手動装置本体のガタツキやねじの緩み・抜け落ちがない。
- ブレーキペダル・アクセルペダルに取り付けたクランプがきちんと取り付けられ、スターノブがしっかり締まっている。
- クランプのセーフティフックがきちんと引っかかっている。
- グリップを前後に動かしたとき、ブレーキ操作・アクセル操作がスムーズに行える。
- グリップパイプの長さが適切に調節されている。
- 吊り下げバンドによって手動装置が操作しやすい高さに調節されている。

⑤ こんなときは

- パイプにへこみや歪みが見つかったとき

操作ができない場合はすぐにパイプの交換が必要です。操作ができたとしても近いうちに支障を来す場合があるので、できるだけ早めに交換をしてください。まずはお問い合わせ先にご相談ください。

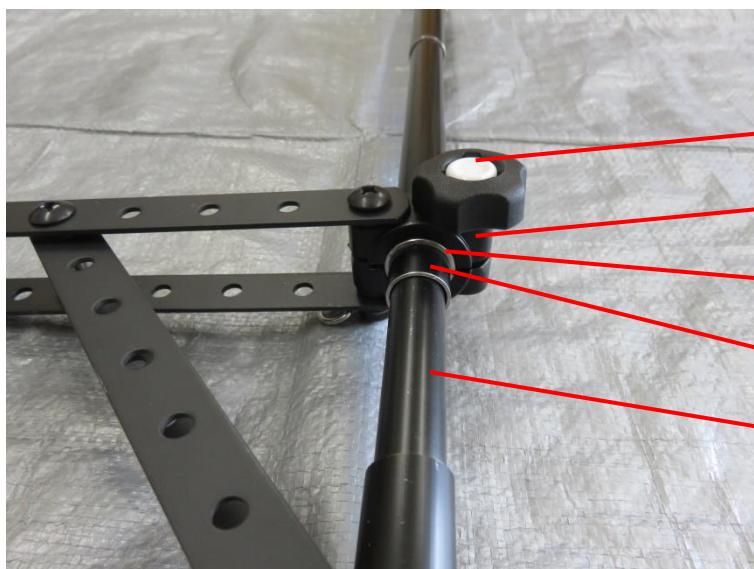
- ネジにガタツキがあるとき

工具を用いてしっかりと締めてください。頻繁にネジが緩む場合はお問い合わせ先にご相談ください。

- グリップの向きを変えたいとき

クランプ用スーパーノブを緩め、グリップを捻ると向きが変わります。希望の向きになったら、クランプ用スーパーノブを締めます。

このとき、グリップインナーパイプがクランプより1.5cmほど出ていること、クランプ用シムがクランプ内にあることを確認してください。



- ① クランプ用スーパーノブ
- ② クランプ
- ③ クランプ用シム
- ④ グリップインナーパイプ
- ⑤ ブレーキインナーパイプ



5. 保証とアフターサービス



① 保証とアフターサービス

- 保証期間中（お買い上げの日から1年間）は無償で修理いたします。
- 保証期間終了後でも気軽にご相談ください。

6. お問い合わせ先



① お問い合わせ先

- 特定非営利活動法人 ウエル・クラフト

〒601-8449 京都市南区西九条大国町37-14

TEL・FAX : 075-682-7974

E-mail : info@welcraft.org

HP : <http://welcraft.org/>

FB : <https://www.facebook.com/npowelcraft/>

- 理事長：平野 功

携帯電話 : 090-3614-4420

- 工房

〒612-8412 京都市伏見区竹田中川原町454

NPO法人 なごみ1F